

日本レスリングの歴史と少年少女レスリング

1K04A0023-6

伊藤 拓也

指導教員

主査 中村好男先生

副査 太田章先生

緒言

現在行われているレスリングは、古代レスリングとルールもスタイルも違っている。また、レスリングのルールは変更されることが多い。それは、観ている観客にとってより分かりやすいものにするためである。今でこそスポーツとして行われているが、古代におけるレスリングはいったいどのような目的で競技されていたのかを明確にする。

また、日本にどのような経緯でレスリングが伝わったのか。また、どのようにして日本に広まっていったのかを明確にする。一般的には八田一郎が日本にレスリングを持ち込み、日本レスリング界の父として言われているが、なぜレスリングを日本でやる必要があったのかを明確にする。そして、日本レスリングの歴史では最近普及してきている少年レスリングについて調べていく。

また、どのようにすれば、今まで以上にレスリングが普及し、競技人口が増えるのかを考察にする。

方法

本研究の方法は主に文献及び web 上で出来る限りの資料を集める。Web では日本レスリング協会などのサイトを主に活用する。また日本レスリング協会に保管している資料や、早稲田大学レスリング部 70 周年史などを参考文献として活用する。古代については、古代オリンピックについて書かれている文献を読み進めていく。

概要

第 1 章 はじめに

動機、目的、方法、ルールを述べる。

第 2 章 レスリングの始まりと背景

レスリングとは、どのようなものなのかということについて触れておく必要がある。人類が始めた最古のスポーツであるがどういった理由でレスリングができ、発展したのか調べていく。その中でレスリングには地域特有のレスリングがあり、レスリングが宗教的儀式の一つというだけでなく、人間的魅力を持つ人物として見られてきたが果たしてレスリングにはどのような魅力があったのか調べていきたい。

第三章 少年レスリング史

少年レスリングの意義や歴史について詳しく追っていき、現在はいかなる状況なのかについても簡単に確認していく。また、この作業には日本のレスリングの状況を知る必要がある為、日本レスリングについても触れることにする。そして、八田一郎がどのような経緯で日本にレスリングを伝えたのかを明らかにしていきたい。その中で、これまで全く知られていなかった、戦前期の少年レスリングに関する事実も追及していきたい。

第 4 章 日本レスリングの父 八田一郎

日本レスリングの父、八田一郎はどのような指導方法で、黄金時代を築いたのか。今でもその名残が残っている八田イズム。しかし、八田イズムとは一体どういったものなのか調べていきたい。

第 5 章 日本少年レスリング史総括

少年レスリング萌芽期の特徴を捉え、歴史を振り返ると共に、現在の日本レスリングがどのような発展を遂げてきたのかを確認し、そこから現在の状況を把握していく。更に、少年スポーツとしてのレスリングがどのように発展していく可能性を持つのかをまとめてみたい。

結章 これからのレスリングについて

本論文の最後として、これからの少年レスリングの方向性について考えてみたい。少年レスリングはこれから先、どのような方向に向かって行くのだろうか。外部的には近年の教育界やスポーツ界における変化も大きな影響を与えている。内部的には、連盟組織の更なる発展を期して活動していかなければならないであろう。本論文の最後に内部の状況を踏まえて、これからの少年レスリングの方向性について考察して、まとめとする。

今後の課題

少年レスリングの今後の課題について検討していきたい。例えば学校週 5 日制は、少年レスラーの増加に繋がる可能性を持っているか、生涯スポーツ推進の中で、少年レスリングクラブへの一般的な認識はどう変わっていくかなど、少年レスリングを取り囲む環境を前提に考察していく。